

## 事業計画書

事業名	絵本で豊かな子育て&地域文化の発展を目指して
実施場所	絵本専門店グリム
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

- 1、子どもの本について子育て世代の親へ学習の場を作る。

具体的には

イ、絵本、児童文学作家、翻訳家、編集者を招いて講演会をする。

ロ、絵本専門士、図書館司書等による読み聞かせの仕方を学ぶ

ハ、参加者による交流会をして高め合う。

ニ、定期的に読み聞かせなどのお話会を実施する。

- 2、大人(子育て世代からシニアまで)の“絵本を学ぶ会”を作る。

絵本を持ち寄り、テキストを決めて学び合う。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

今、子どもたちを取り巻く環境はゲーム、スマホ等危機的状況にあります。

今や家庭の約94パーセントがゲーム、スマホ等ネット環境があります。

その道の専門家は“脳にダメージを与え、人格形成にも大きくかかわるといっています。

具体的には家庭での対処が必要かと思いますが、ここで大切なのは

絵本を読んであげる中で、正常に脳が働いてくるということです。

“絵本ってたのしいなあ”と想像することの喜びも感じてくることでしょう。

まず親たちがSNS等から少し距離を置いて、絵本や本について学ぶことが必要です。

そのことが我が子への読み聞かせにつながり豊かな家庭環境になるでしょう。

その為に様々な子どもの本の事業を展開したい。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5～6月 『絵本作家山口マオ氏(予定)による講演会&amp;ワークショップ』            ※ミニギャラリーして原画の展示            対象…小学生、幼児と保護者 15組程度            参加費…1,000円(講師代、交通費、原画送料、保険代等)</li>   <li>・ 5～6月 『絵本専門士による絵本の読み聞かせ講座』            講師…美能 美貴子            対象…子育て中の方や興味のある方 15名程度            参加費…500</li>   <li>・ 8月 『こわいこわいおはなし会』            対象…子ども～大人まで            参加費…無料</li>   <li>・ 9月 『大人のための絵本セラピー&amp;沖縄料理の会』            講師…大川 政代(絵本セラピスト)            対象…大人 15名程度            参加費…700円</li>   <li>・ 10月 『元福音館書店編集部部长 古川信夫氏を招いての講演会』            対象…子育て中の方、興味のある方 20名程度            参加費…700円</li>   <li>・ 11月 『絵本作家 さいとうしのぶ氏による講演会&amp;ワークショップ』            ※ミニギャラリーして原画の展示            対象…小学生、幼児と保護者 15組程度            参加費…1,000円(講師代、交通費、原画送料、保険代等)</li>   <li>・ 12月 『クリスマス会 音を楽しもう! 絵本の読み聞かせ&amp;歌と楽器遊び』            講師…峯松 由貴            対象…赤ちゃん～小学生とその保護者 15名程度            参加費…500円</li> </ul> <p>※定例おはなし会…月2回開催(第1、3木曜日 10:30～11:00)</p>

## ◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>大人が絵本を学ぶことによって、子どもも絵本に親しむ機会が増える。</p> <p>絵本を通して、豊かな家庭環境と親子のコミュニケーションが増える。</p> <p>また、地域の文化に貢献できる。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p><b>満足度 80%以上</b></p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p><b>アンケートにより参加者の満足度を はかる</b></p>

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<b>公益性 ・ 必要性</b>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。お店という場合は、多くの人が集まりやすいため、絵本や本を通して地域の交流、文化の情報交換、発信基地となる。</p> <p>子ども達が絵本や本を親しむ場所であり、小さなお子様連れでもゆっくと絵本を選ぶことのできる専門店は他に類をみない。</p> <p>店舗スペース以外に、ミーティングルーム、原画等を展示するギャラリーがあるので、ワークショップができる</p>
<b>地域性</b>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>大岡という場所柄、利便性があり認知しやすく、近隣の市や町の方々も訪れやすい。</p> <p>小・中学校が近くにあるので、地域の子も達が気軽に立ち寄れる店づくりを目指す。</p> <p>子育て世代ばかりではなく、祖父母も来られるので、世代を超えて交流しやすい。</p>
<b>先導性</b>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>ミーティングルームなどのスペースを活用して、子ども達の豊かな育ちと絵本と読書の楽しさを広げるための活動をする。</p> <p>長年培った幅広い知識を元に、本の選び方、読み聞かせの仕方などの学習の機会を作る。</p> <p>大人同士が絵本を読み合っ、学び合う会をする。</p> <p>個人、サークル等の情報の交換、交流会を行って広く普及する。</p>
<b>発展性 ・ 継続性</b>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>主に子育て世代への学習の場を作る。絵本作家や編集者などの講演会を企画し、絵本や本の楽しさ、想像することの楽しさをまず親に感じてもらう。</p> <p>近隣の文化、子育ての団体等とも協力して、本を広めるワークショップをする。</p> <p>当店は子どもの本専門店として、千葉県船橋市始め 35 年間継続してきた。子どもの読書環境を豊かにする活動をしてきたので、絵本作家、子どもの文化に関わる方と信頼関係がある。</p> <p>その基盤を生かして、講演会や勉強会、おはなし会等を継続して行う。</p>
<b>実現性 ・ 妥当性</b>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>講演会や勉強会などは、多くの方が興味を持って参加できる料金設定とし、絵本のつながりを広める。</p> <p>定期的に読み聞かせや絵本を学ぶ会を行うことによって、認知度をあげる。</p> <p>子どもの文化や本に関わるほかの団体とも協力関係を持つ。</p> <p>グリム会員を公募し、安定性を保つ。</p> <p>セミナーや講演会で収入が得られたら、積み立てをして次期の活動に繋げる。</p>

活動に 対する 熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>子育て世代を中心に本の楽しさを伝え広め、親と子の心を育む居場所作りを目指す。子どもたちに様々な絵本と出会ってほしい。</p> <p>と同時に一生の宝物になるような絵本と出会ってほしい。</p> <p>子どもはやがて大人になり一人で生きていかなければなりません。</p> <p>辛いこともあるでしょう。子どものころに読んだ本は生きていく力になります。</p> <p>出会いのキッカケを作るのは大人です。図書館、学校もあるでしょう。</p> <p>しかし肝心なのは親です。その親が絵本の楽しさを実感し、学ぶならば豊かな家庭環境になるでしょう。そのために子育て世代を中心に本の楽しさを伝え広めたい。親と子の心を育む学びの場が是が非でも必要です。</p>
------------------	--

### ◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>今期の活動実績を基に単発的ではなくて絵本について基礎から学ぶことのできる絵本の学校を開設したい。大よそ以下のことを考えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、赤ちゃん絵本について</li> <li>2、幼児の成長と絵本について</li> <li>3、民話・昔話と絵本について</li> <li>4、子どもの成長と読書について</li> <li>5、絵本作家から伝えたいこと</li> </ol> <p>その為に今期の事業ごとにチラシ等で宣伝普及し予め希望者を把握する。</p> <p>入校希望者が更に広げていってもらようようにする。</p> <p>ほかの関連団体にも申し入れして、実行委員会形式にする。</p>
---

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p>
---

**◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）**

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。